

平成 29 年 2 月 7 日
商 工 中 金

「地域連携支援貸付制度」適用 タマネギの大規模生産で地元愛媛県の農業再興に貢献する 農事組合法人たいよう農園を金融面からサポート！

商工中金は、平成 28 年 4 月に「地域連携支援貸付制度」を創設し、幅広い事業者が連携し、農林水産物や観光資源等の地域資源を活用して成長を目指す取り組みをサポートしています。商工中金が期間 10 年一括償還・成功利払いの長期資金を供給することで融資先の事業リスクを軽減しつつ、民間金融機関と協調して融資に取り組み、地域経済の活性化を図るものです。

商工中金（松山支店）は、同制度を活用し、農事組合法人たいよう農園（本社：愛媛県大洲市、代表者：本田 和也氏）に対し、伊予銀行と協調して、愛媛県の地域資源である「タマネギ」の生産拡大に必要な資金 1 億円を融資しました。

農事組合法人たいよう農園は、地元営農者がキャベツやタマネギの生産を行うために設立された農業生産法人です。経営資源を集中的に投下し、野菜の大規模生産に取り組んでいます。

今回、同法人は、深刻化する耕作放棄地の問題解決に向けて、愛媛県から耕作放棄地を借受けてタマネギの大規模生産を目指し、代表者が経営する養豚業者である有限会社太陽ファームと連携して循環型農業による効率的な生産を図りつつ、弁当・惣菜販売並びにホテル経営を行う株式会社たいよう農園と連携し、地元の野菜・豚肉の地産地消の推進を図る事業計画を策定しました。本事業では、自社生産だけでなく、契約農家を増やしていく予定としており、地域農業の再興とともに生産者の経営基盤の安定化も目指しています。

商工中金は、本事業が地域資源の活用強化を通じて、地域農業の発展や地域での商取引拡大に繋がる等、地域経済への波及効果を高く評価し、伊予銀行と連携してサポートを行いました。

商工中金は、今後も全国各地の地域資源を活用する事業に本制度を活用しながら、地域経済の活性化に貢献してまいります。

【農事組合法人たいよう農園の概要】

所在地	愛媛県大洲市野佐来 162-20	出資金	90 百万円
代表者	本田 和也	組合員数	8 名（平成 29 年 1 月現在）
業種	農業	設立	平成 18 年 8 月

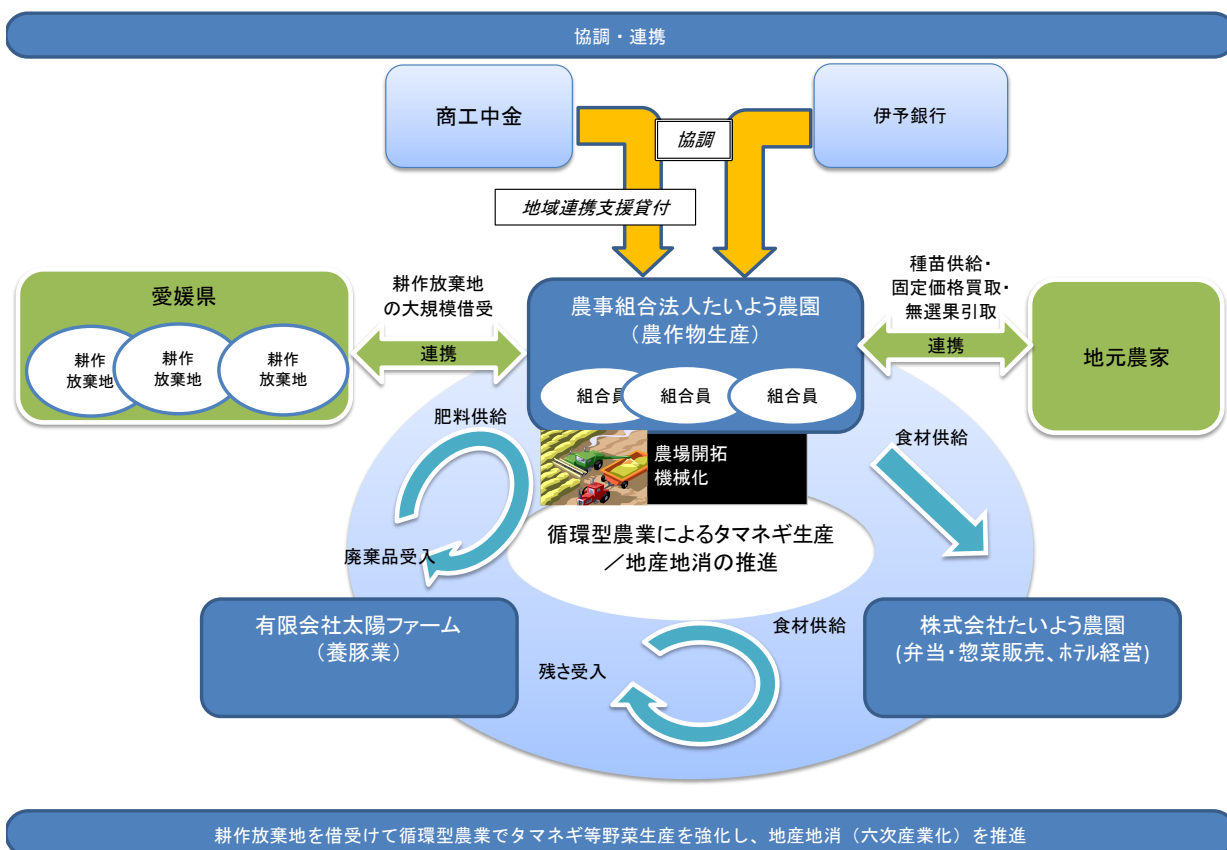
【有限会社太陽ファームの概要】

所在地	愛媛県西予市三瓶町朝立 7-122-1	資本金	75 百万円
代表者	本田 和也	従業員数	70 名（平成 29 年 1 月現在）
業種	養豚業	設立	平成 2 年 5 月

【株式会社たいよう農園の概要】

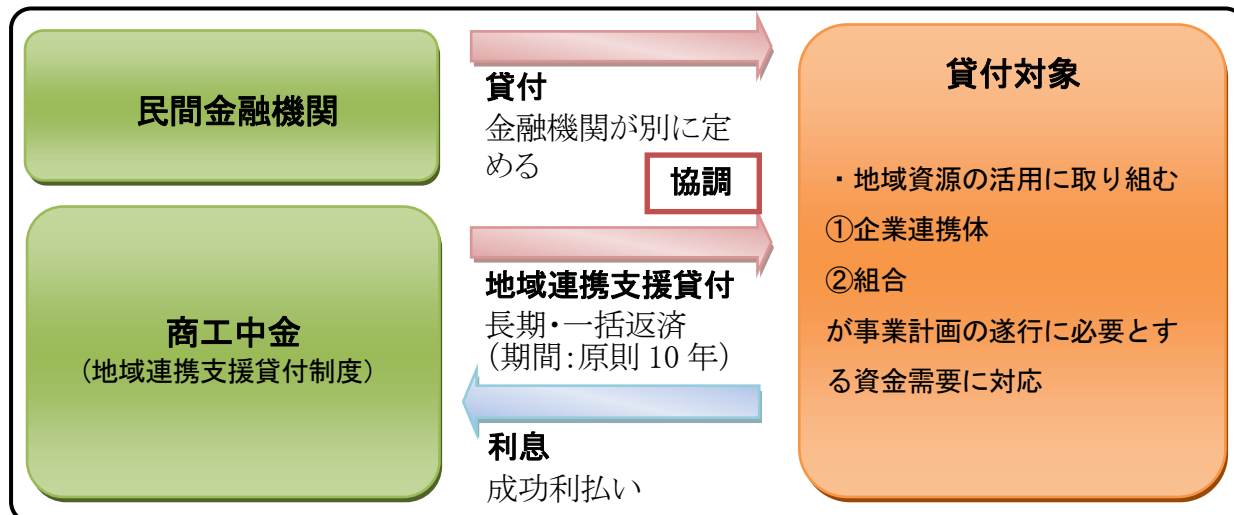
所在地	愛媛県西予市三瓶町朝立 7-122-1	資本金	30 百万円
代表者	本田 幸久	従業員数	8 名（平成 29 年 1 月現在）
業種	料理品小売業	設立	平成 28 年 1 月

【本件のスキーム概要】



【地域連携支援貸付制度】

1. スキーム概要



2. 貸付制度の概要

○貸付条件

貸出形式	証書貸付
限度額	1計画あたり5億円
償還方法	期限一時返済
利率	成功の場合は当金庫所定の利率、不成功の場合0.6%
貸付期間	原則10年

○利率（成功判定）

- ・利率は、事業の成否に応じた変動金利とする。
- ・債務者の直近決算の経常損益が赤字の場合は0.6%、黒字の場合は商工中金所定の利率とする。
- ・なお、黒字の場合であっても、地域資源活用計画期間中は、地域資源指標の達成率が80%未満の場合は0.6%とする。